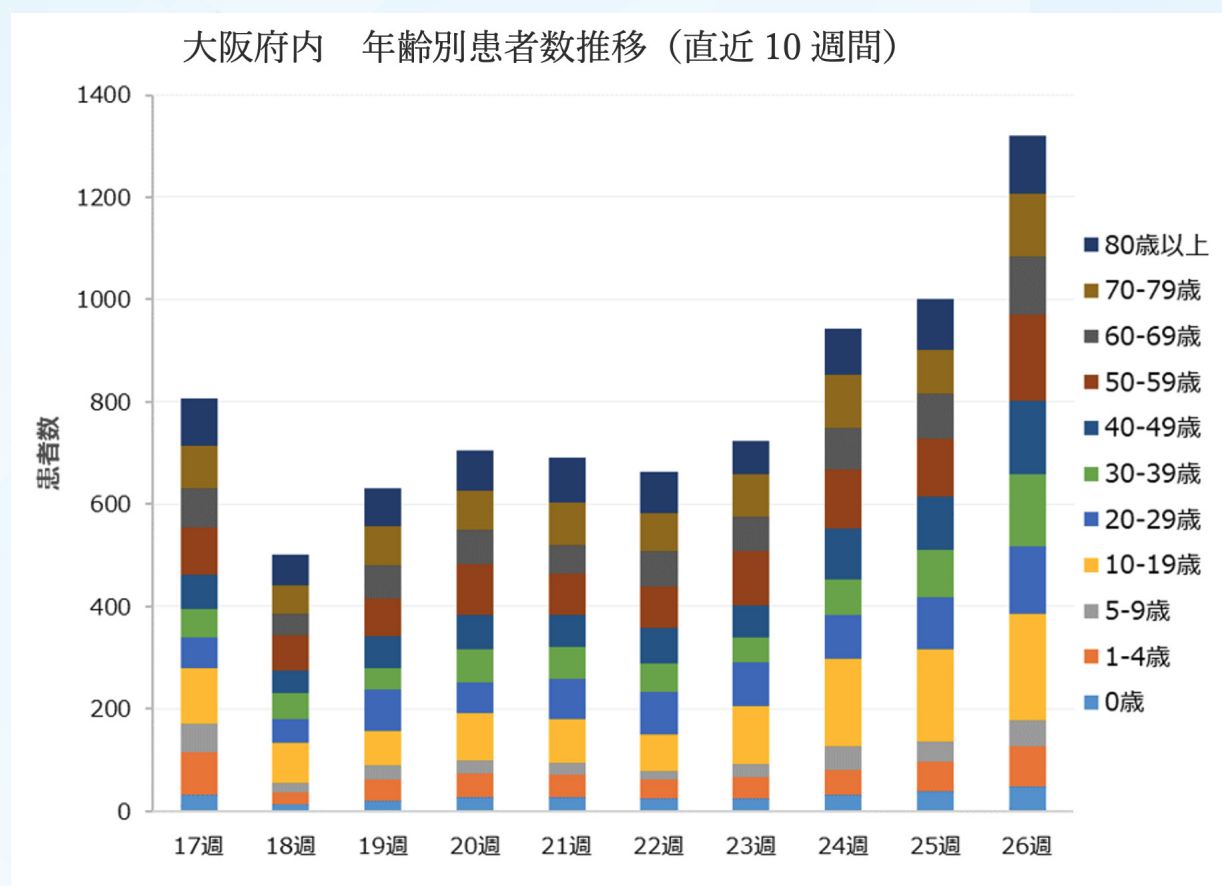


最近のコロナの状況について

新型コロナウイルス感染症が2023年5月8日に第5類感染症に移行して、早1年が経過しました。コロナウイルスという感染症が確認されてから4年間、毎日のようにテレビ・新聞等で報道されてきましたが、今では全く目にしません。「喉元過ぎれば熱さ忘れる」のことわざ通りの状況になっています。

今更こんな話題で書くのはどうかと云われそうですが、高齢者業界、介護業界に身を置いていますので、コロナについて高齢者住宅や介護施設系で「クラスター」が発生しているという情報を時に耳にします。

大阪府感染症情報センター発表のコロナ感染症患者を調べてみると、別表のように直近26週(6月24~30日)に1,320人の患者数でした。人数的にはひところの何万人という数字ではなく、微々たる人数かもしれませんが、あらためて感染対策を怠ってはいけないと思います。



といいますのも、私が知っている介護施設様で小規模ではあるもののクラスターが発生したり、知り合いが最近コロナに感染し2週間近く高熱と喉の痛みに苦しんでいたりしました。とても気をつけていたつもりだったのに、どこで感染したのか全く分からないとのことでした。改めて気をつけなければと思った次第です。

これから暑い夏を迎え、なかなか難しいかもしれませんが、予防の基本となる手洗い(消毒)うがい、マスクの着用(場所によるが)が、一番かと思えます。

病院や介護施設などは感染対策をきちんと実施しておられるように思いますが、一部には少しおざなりになってきているところも見受けられます。また、ショッピングセンターや様々なお店や機関を利用する我々としては、慣れっこにならず出入りする時の手指の消毒も意識して実施したいものです。

また、本人の体力や免疫力が低下していると感染発症しやすく、重症化することも考えられます。熱い夏で、食欲が低下したり寝苦しかったりしますが、健康維持のために、栄養バランスのとれた食事を規則正しく摂ること、十分な睡眠をとること、適度に体を動かすことなどを心掛けたいものです。

